

－X線回折法の基礎－

工学部技術部生産構造技術系 技術職員 志田 賢二

X線回折法は金属、セラミックス等の無機材料から、医薬品、プラスチック等の有機材料まで幅広い分野で利用されている分析方法である。本学工学研究機器センターにおいては粉末X線回折装置、微小領域・薄膜X線回折装置、単結晶X線回折装置が共通機器として配置されている。これら装置の測定原理の理解、測定データを正しく解析する技術を習得することは非常に重要である。本セミナーでは「X線回折で何が解るのか？」をテーマに、一般的な応用測定と最近のトピックスについて事例を挙げて説明する。

3 まとめ

参加者の内訳は、教員4名、学生34名、地元企業7名であった。今回は会場の都合上、前回（教員15名、学生57名、地元企業10名）より参加者が減少したが、内容的には今後の発展が予測される新たな分析法や応用測定について講演することができた。今後の研究活動の進展に寄与できれば幸いである。個人的には、当日参加いただいた恩師の名誉教授より、自身の講演についてお褒めの言葉を頂戴したことが、非常に感慨深かった。最後に、本セミナーはH24年度以降も継続して開催の予定である。装置の有効活用はもちろんであるが、装置を管理するWGメンバーが、本セミナーで講師を務めることによって個々人のスキルを見直し、更なる研鑽を積むきっかけになることを期待したい。



図1. セミナー会場の様子